

法人本部

1 令和6年度事業報告について

① 令和6年度法人本部事業報告書

令和6年度については、各種の大会、会議及び行事などもほぼ新型コロナ以前の内容で実施されました。

当法人関係の事業についても、ほぼ例年どおり実施してまいりました。

以下、主要な事業の実施結果等について報告します。

1 理事会・評議員会の開催

(1) 第1回理事会（令和6年5月26日開催）

出席者：理事9名、監事2名

議 題：

＜決議事項＞

第1号議案 諸規定の一部改正等について

① 本部経理規程の一部改正

② 本部、情報センター及び福山支援センター職員就業規則の一部改正

③ 愛命園給与規程等の改正

第2号議案 令和5年度事業報告について

法人本部及び各施設の事業報告について、原案どおり承認。

第3号議案 令和5年度収支決算（会計書類及び財産目録の承認）について

法人本部及び各施設の収支決算について、原案どおり承認。

第4号議案 令和4年度収支決算に係る会計書類の付属明細書の承認について

原案どおり承認。

第5号議案 令和6年度定時評議員会の開催について

原案どおり承認。

＜報告事項＞

- ① 監査報告について
- ② 会長及び業務執行理事の職務執行状況報告について

(2) 定時評議員会（令和6年6月16日開催）

出席者：評議員14名、監事2名、理事6名

議 題：

＜決議事項＞

第1号議案 令和5年度収支決算（会計書類及び財産目録の承認）について
法人本部及び各施設の収支決算について原案どおり承認。

＜報告事項＞

- ① 令和5年度事業報告について
法人本部及び各施設
- ② 監査報告について
- ③ 諸規定の一部改正等について
第1回理事会承認事項について報告
- ④ 会長及び業務執行理事の業務執行状況報告について

(3) 第2回理事会（令和6年12月1日開催）

出席者：理事11名、監事2名

議 題：

＜決議事項＞

第1号議案 諸規定の改正について

- ① 育児・介護休業規程の一部改正について
原案どおり承認。
- ② 愛命園非常勤職員等就業規則の一部改正（時間給）について
原案どおり承認。

- ③ 愛命園非常勤職員等就業規則の一部改正（休暇）について

原案どおり承認。

第2号議案 令和6年度資金収支補正予算について

原案どおり承認。

第3号議案 第2回評議員会の開催について

原案どおり承認。

＜報告事項＞

- ① 第72回日本視覚障害者団体連合中国ブロック視覚障害者福祉大会報告について
- ② 理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告について

(4) 第2回評議員会（令和6年12月15日開催）

出席者：評議員14名、監事2名、理事6名

議 題：

＜決議事項＞

第1号議案 令和6年度資金収支補正予算について

原案どおり承認。

＜報告事項＞

- ① 諸規定の改正について
第2回理事会承認事項について報告
- ② 第72回日本視覚障害者団体連合中国ブロック視覚障害者福祉大会報告について
- ③ 理事長及び業務執行理事の業務執行状況報告について

(5) 第3回理事会（令和7年3月9日）

出席者：理事11名、監事2名

議 題：

＜決議事項＞

第1号議案 諸規程の一部改正について

- ① 法人本部、愛命園及び情報センター職員給与規程別表

の改正

原案どおり承認。

② 育児・介護休業規程の改正

原案どおり承認。

③ 本部、情報センター及び福山支援センター事業継続計画の策定

④ 団体会員会費の変更

原案どおり承認。

⑤ 愛命園運営規程（障害者支援施設・ショートステイ・日中一時支援）の一部改正

第2号議案 令和7年度事業計画について

法人本部及び各施設も事業計画について、原案どおり承認。

第3号議案 令和7年度資金収支当初予算について

法人本部及び各施設の当初予算について、原案どおり承認。

第4号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任及び同委員会の開催について

原案どおり承認。

第5号議案 第3回評議員会の開催について

原案どおり承認。

<報告事項>

① 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について

(6) 第3回評議員会（令和7年3月23日開催）

出席者：評議員17名、理事6名、監事2名

議 題：

<決議事項>

第1号議案 令和7年度事業計画について

法人本部及び各施設の事業計画を原案どおり承認。

第2号議案 令和7年度資金収支当初予算について

法人本部及び各施設の当初予算を原案どおり承認。

<報告事項>

- ① 諸規程の一部改正について
第3回理事会承認事項について報告
- ② 評議員選任・解任委員会委員の選任及び同委員会の開催について
- ③ 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について

2 大会・行事等

(1) 第52回中国ブロックグランドソフトボール大会（山口県大会）

開催月日： 令和6年5月12日（日）

開催場所： 山口県下関市

実施結果等： 広島県チームが参加したが、試合は雨天中止となり、抽選の結果、岡山県チームが中国ブロック代表となった。

(2) 第77回全国視覚障害者福祉大会（熊本大会）

開催日時： 令和6年6月2日（日）～6月3日（月）

開催場所： 熊本県熊本市

実施結果等： この大会に2～4日の参加研修旅行を企画し、橘高会長ほか23名の役員・会員等が参加した。

(3) 第70回全国視覚障害者女性大会（香川大会）

開催日時： 令和6年9月4日（水）～9月5日（木）

開催場所： 香川県高松市

実施結果等： 現地及びオンライン開催に、清水女性部長ほか1名参加

(5) 第70回全国視覚障害者青年研修大会

開催日時： 令和6年9月15日（日）～16日（月）

開催場所： 大阪府

実施結果等： 山本青年部役員が参加したほか、Y o u
T u b eによるライブ配信を視聴

(6) 第72回日本視覚障害者団体連合中国ブロック視覚障害者福祉大会（広島県大会）

開催日時： 令和6年9月7日（土）～8日（日）

開催場所： 広島県福山市

実施結果等： 当会主催により、福山市生涯学習プラザまなびの館ローズコムにおいて開催。中国5県・広島市から約180名の参加を得た。本県からは、会長ほか役員、会員47名が参加。

(7) 令和6年度中国ブロック三療研修会

開催日時： 令和6年11月2日（土）～3日（日）

開催場所： 山口県山口市湯田温泉

実施結果等： 広島県から2名参加

3 社会参加推進事業

(1) 点字による即時情報ネットワーク事業

JB ニュースの発行

令和7年3月31日現在16部発行、1部10ページ

土、日、祝及び年末年始を除く毎日発行

日本視覚障害者団体連合から視覚障害者に関する情報や日々の国内外のニュースが、点字データと共に日々配信され、これを点字プリンターで打ち出し、購読者へ発送した。

(2) 身体障害者補助犬育成事業

令和6年度においては、1頭を貸与。

福山市 村上 隆 盲導犬ジェニー

(3) 点訳・音訳奉仕員養成事業

①点訳奉仕員研修会

場 所：広島県立視覚障害者情報センター会議室

講 師：点字指導員 2 名

受講者：2 名

日 数：14 日、延時間：28 時間

（毎週水曜日 13 時 30 分～15 時 30 分）

内 容：

- ・点字の概要、点字の文字、点字の特徴（点字の読み方・書き方）
- ・より良い点訳のための簡単な文法・読み方の調査など
- ・語の書き表し方 4 回 ・分かち書き 5 回
- ・記号類の使い方 ・書き方の形式
- ・コンピュータ操作 2 回（点字編集システムの使い方など）

②音訳奉仕員研修会

場 所：広島県立視覚障害者情報センター会議室

講 師：音訳指導員 3 名

受講者：7 名

日 数：14 日、延時間：28 時間（毎週水曜日 10 時～12 時）

内 容：

- ・音訳とは、音訳ボランティアとは
- ・音声化技術の基礎、音声化技術の実際 3 回
- ・処理技術 2 回、校正の基本（校正技術）
- ・デジタル時代の録音資料（録音技術）、演習 2 回

4 本部助成事業

(1) グランドソフトボール選手派遣事業

第 5 2 回中国ブロックグランドソフトボール大会（山口大会）の参加を支援。

(2) 女性部社会参加促進事業

- ①開催日時：令和 6 年 4 月 2 1 日（日）

場 所：福山市すこやかセンター
内 容：10時40分～12時 定期総会
13時～14時40分 社会参加促進事業
「超簡単脳トレウクレレ講座」
講師：中井圭司氏（びんご人材ネットワーク）
参加者：20名（三原2，府中3、福山11、呉4）

②開催日時：令和6年11月17日（日）10：30～15：30

場 所：府中市クルトピア岩谷
内 容：（1）「お抹茶の接待でお出迎え」
講師：小塩光子さん
（2）「しっかり取ろう必要な栄養素」
講師：金森美江さん
（3）「ピアノ演奏でリフレッシュ」
演奏者：行武宏波さん、池本さん
参加者：32名（福山10、三原5、府中15、呉2）

（3）青年部事業

開催日時：令和6年12月8日（日）9時～16時
開催場所：福山市障害者体育センター
内 容：サウンドテーブルテニス大会
審判員及び助手：6名
参加人数：県内22名 内選手16名

（4）カラオケ・オセロ大会

開催日時：令和6年7月21日（日） 10：30～15：00
開催場所：福山市老人大学
参加者等：福山市、府中市、尾道市、三原市、
呉市から応援含めて80名 うち、カラオケ12
名、オセロ9名、合奏グループ2組

(5) あはき部会事業

日 時：令和7年2月9日(日) 13:30～15:30

会 場：福山市すこやかセンター

講 演：私の治療院経営の理念

「私の歩んだ道・三療における治療の実際」

実 技：頸肩腕症候に対するアプローチ

講 師：三次市あきはもか治療院院長 金山敏治先生

5 その他の事業

(1) 身体障害者の更生相談に応じる事業

障害者手帳を取得して間もない方の相談の場としての「来んさいサロンゆるる」を隔月開催したほか、随時、視覚障害者の生活や就業等に関する電話相談に応じた。

(2) 身体障害者生活訓練事業

県立情報センターを利用する視覚障害者の生活スキルの向上や健康づくりを進めるため、同センターが実施する「ITサロン」、「パン教室」、「発酵教室」及び「太極拳&健康体操」を支援した。

愛命園

1 令和6年度事業報告

②令和6年度愛命園事業報告書

I. 事業について

1 施設の現状

1. 実施事業

障害者支援施設「愛命園」（生活介護・施設入所支援）・障害福祉サービス事業「愛命園ショートステイ」・相談支援事業「障害者相談支援事業所愛命園」・日中一時支援事業「愛命園日中一時支援事業所」の四つの事業を行った。

各事業の詳細については、別紙のとおり。

2. 施設、設備備品の整備

- ・ さくらホール周り・ライトハウス
玄関前舗装工事

7, 590, 000円

- ・ 作業棟前マーブルマット張替

682, 000円

- ・ 井水受水槽ポンプ室バルブ配管交換工事

196, 900円

- ・ ろ過機室ミキシングユニット取替 一式

187, 000円

- ・ 自動水栓修理（食堂・廊下洗面台）

176, 000円

- ・ 加圧給水ポンプモーター修理

171, 600円

- ・ 屋外散水栓用バルブ取替工事 一式

162,800円

- ・洗濯室 洗濯機 1台

113,300円

- ・温冷配膳車ヒーター部品交換

101,200円

3. 地域貢献について

- (1) 地元町内会行事へ継続参加（総会・町内美化活動等）する。
- (2) 広島福祉専門学校の指定実習施設となっているため、引き続き実習生を受け入れる。
- (3) 湯来南高校から引き続き介護講師の依頼を受け、生活支援員1名を派遣する。
- (4) 『日中一時支援事業』により地域のニーズに対応する。
- (5) 地域中学校の福祉体験学習の協力（アイマスク体験、障害者への理解に関するおはなしなど）する。
- (6) 引き続き玄関に「こども110番の家」と「地域で守るいじめ虐待110番」のステッカーを貼り、運動に協力する。
- (7) 玄関にAEDを設置し、園の利用者のみならず行事で来園される方や、近隣の田んぼや畑で農作業される方の不測の事態に備える。

4. 行事

年間の行事計画コロナ感染対応しながら実施

- (1) 花見は4月1日（月）に実施

法人より橘高会長・金岡事務局長・元園長林 弘子さんの出席があり、食堂とれんが通りで八分咲きの桜の木の下で、天気にも恵まれ、カラオケをフルコーラス歌い楽しんだ。

- (2) 開園 5 1 周年記念式典は、6 月 1 日（土）
橘高会長・金岡事務局長・元園長林 弘子さん・
畑後家族会会長に出席頂き執り行った。
- (3) グループ外出は、5 月 9 日から 6 月 2 7 日まで 2 か月
に渡り、カープ観戦や買い物コンサート等希望する場所
でそれぞれが楽しんだ。
- (4) 湯来小中学校合同運動会に招待され、5 月 1 8 日（土）
希望される利用者と参加した。
- (5) 親善球技大会 6 月 9 日（日）天候悪くゲート通しは中
止となり屋内競技のフライングディスクに 2 名参加し
た。
- (6) 夏まつり 8 月 3 日（土）計画はしていたが、コロナ感
染症クラスターとなり中止とした。
- (7) ご長寿お祝い会 9 月 3 日（火）賀寿の方、4 名古稀・
4 名喜寿の方が該当（合計 8 名）となり手作りちゃんち
ゃんこを着て写真撮影、ゲーム等実施した。
- (8) 旅行は、9 月 5 日から 1 1 月 7 日まで下関と香川の一
泊旅行・リンゴ狩りやビュッフェバイキングなど日帰り
旅行を楽しんだ。
- (9) 1 0 月 2 1 日（月）腹話術師ボランティアに来ていた
だき楽しいひと時をすごした。
- (10) 1 0 月 2 6 日（土）湯来小中学校合同文化祭招待され
希望される利用者参加された。
- (11) 1 1 月 2 0 日（水）芋ほり体験は、毎年ご近所の方か
ら芋ほり体験のお誘いをしてもらい利用者 3 名が沢山
芋ほりをさせて頂いた。1 2 月 1 2 日（木）利用者の皆
さんで芋を食しました。
- (12) 園まつり当日は天気もよく近隣の方・ご家族・ボラン
ティアの方等沢山のお客さんで賑わった。昨年同様、芸
北分校神楽部演舞（大蛇 7 体）が見どころあり大いに盛
り上がった。

- (13) クリスマス会 12月25日に元職員に声をかけ7名ほど参加して頂いた。
- (14) 初詣 1月1日、2日と二日に分かれ10名ほど麦谷八幡神社に参拝に行った。
- (15) 節分豆まきは2月3日(月)
イワシを玄関で焼きその匂いで鬼は退散、柊の葉にイワシの頭を刺し玄関に飾った。利用者代表の年女・年男に玄関先で『コロナ鬼は外、インフル鬼は外、福は内』と豆まきを行った。
- (16) 近隣小学校福祉体験学習 12月に行う予定だったがコロナ感染症の為2月4日実施となる。合奏・合唱・自己紹介のあと創作活動体験をしてもらった。
- (17) 利用者の帰省期間は次の通り
GW帰省 4月27日(土)～5月6日(月)
夏コロナ感染症蔓延の為中止とした。冬帰省 12月25日(水)～1月5日(日)
- (18) コーラスクラブの活動
コロナ禍と講師体調不良で今年度は13回のみの活動。
- (19) 訪問ボランティア
・どんぐり会が月に1度来園される予定で、コロナ感染症の為、年8回朗読奉仕となった。
・近隣の元民生委員の自称「あんみつ姫」が今年度は、年間7回紙芝居に来て下さった。

5. 職員の研修

- (1) 各月にわたり内部研修会を行う。研修6回実施(内、1回外部講師を招いて行った)
- (2) 県社協や関連団体から案内のある外部研修には、関連のある職員が対面・オンラインで参加し、職員会議で伝達講習を行って他の職員に周知するよう努めた。

6. 災害対策

愛命園危機管理マニュアルに従って年4回の避難訓練を実施するとともに、水害を想定して、避難棟への訓練を1回実施した。

7. 虐待防止

平成27年7月1日改正した愛命園利用者虐待防止マニュアルに基づき園内2ヶ所に設置した「目安箱」の継続。
年2回のセルフチェック実施。
年1回の職員研修会を実施。
身体拘束の見直し検討会年2回行った。

2. 利用者への支援について

1. 支援に対する基本姿勢

従来の基本姿勢を踏襲（個別支援の強化）
（ア）利用者の高齢化に伴う障害の重度・多様化に即した介護面での対応
（イ）健康管理（医療・食事）への最大限の留意

2. 支援内容

（ア）日常生活支援

- ①住環境に意を用い、利用者の人間関係へのきめ細かな配慮
- ②基本的な日常生活動作の支援
- ③集団生活を営む上で必要な支援
- ④生活を豊かにすることを目的にした余暇活動に対する支援
- ⑤健康の維持増進のための支援

（イ）個別活動

生活の質の向上を図る事を目的とした個別支援の充実、

利用者の教養、趣味、体力等の向上を図るとともに趣味・特技を生かしたクラブ活動等実施

- ・デイルームで、毎月の誕生者を担当からのメッセージとケーキでお祝いした。
- ・挽きたてコーヒーは自分で豆を挽いてもらい、コーヒーの香りや本格的な味を楽しんでもらった。

(ウ) 生活班活動

情緒の安定と身体機能の維持増進を図り、施設内での円滑な生活ができることを目的として音楽療法を取り入れたリトミック体操、理学療法、器楽合奏を中心とした活動を実施した。

(エ) 創作活動

創作活動に意欲のある利用者に対して、次のような目的で創作活動を行った。創作活動は、貝通しと飾り蓋の袋詰め、ペーパーたたみである。

- ・身体機能の維持増進を図るとともに巧緻性を養った。
- ・創作活動をとおして生産することの喜びと勤労の大切さ身をもって体験した。
- ・創作活動に参加するための動機づけや作業場の雰囲気作りに配慮した。
- ・活動することで施設での生活にメリハリをつけた。
- ・創作活動が一般の社会生活に果たしている役割を理解することにより創作に対する意欲の向上を図った。

(オ) 学習・体育・レクリエーション

歩行訓練・散歩・機能訓練・買い物・クラブ活動（コーラス）・音楽療法（29年度より音楽療法士2名リトミック1名）・地域ボランティアによる紙芝居・朗読奉仕・ラジオ体操・全体歩行など行った。

(カ) 個別支援計画の充実

- ・還暦や古希・喜寿など人生の節目をお祝いするなど、ごく一般的に世間で行われている慣わしを実施して利用

者の生きている喜びをより高める配慮をした。

- ・高齢化や身体状況の変化にきめ細やかに対応するため、個別的ケアに重点をおき、心身の穏やかで安定した生活をめざした。
- ・日常生活での個々の利用者の役割、存在意義を大切にし、ひきこもりの解消や、体力・機能の維持に努めた。

(キ) 健康管理

- ①健康管理マニュアルに従って、生活習慣病予防に対する意識の向上に努めた。
- ②定期健康診断で血液検査（全身状態・肝機能・血糖・脂質・腎機能・貧血・腫瘍マーカー等）、検尿、検便（腸内細菌・便潜血検査は年2回実施）、胸部レントゲン撮影を実施し、個々の健康状態の把握と疾病の早期発見に努めた。
- ③被爆検診の対象者2名の検診に付添った。
- ④高齢化した利用者に配慮した食事を提供し、健康状態に応じて個々の利用者に必要な栄養・運動・休息バランスがとれる様に健康管理に努めた。
- ⑤利用者の突発的な健康状態の変化や、終末期ケアを提供するためのオンコールシステムを継続し、利用者の緊急対応に努めた。
- ⑥歯磨きタイムを継続し口腔衛生に努め、歯の清潔管理の大切さの意識の向上に努めた。
- ⑦外出・外泊からの帰園時や食事前、排泄後に手洗いと手指消毒を実施することで、感染予防に努めた。
- ⑧毎朝の体温測定等を継続実施し、利用者の体調の把握に努めた。
- ⑨本人または家族の同意を得た利用者に対し、インフルエンザワクチンも11月に接種した。
- ⑩ノロウイルス・ロタウイルスの施設内感染を予防するための利用者の健康状態の観察と、排泄物の処理の徹底をマニュアルに従い実施することで、ノロウイルス・ロタウイルス

ス陽性者の発生はなかった。

- ⑪慢性疾患を有する利用者に対しては、協力医と連携を取りながら、必要な精密検査や他科受診をして早期治療に努めた。
- ⑫体重・血圧測定を毎月継続実施し、疾病の早期発見に努めた。
- ⑬歯科年1回、利用者健康チェックを行いながら、協力医療機関で通院を行い利用者の健康状態の把握に努めた。
- ⑭治療食が必要な利用者（5名）に対して、糖尿病食の提供を行った。
- ⑮コロナ感染症対策として、利用者の方へマスク着用をお願い・職員と利用者での時間差の食事・職員毎月2回のPCR検査、定期的な感染症対策会議を開催で対応した。

（ク）理学療法

引き続き理学療法士による機能訓練および専門的見地から生活援助の助言を受け、支援体制の充実を図った。

3. 利用者と職員の異動状況

（1）利用者

①退所

- ・令和6年5月27日付退所 庄原市出身
女性 72歳 療養型病院へ（2ヶ月在籍）
- ・令和6年6月14日付退所 江田市出身 男性 75歳
療養型病院へ（50年10ヶ月在籍）
- ・令和6年6月28日付退所 広島市西区出身 男性 56歳
療養型病院へ（21年2ヶ月在籍）
- ・令和6年11月22日付退所 大竹市出身
男性 63歳 在宅へ（11ヶ月在籍）

②入所

- ・令和6年7月12日付入所 広島市安佐南区出身 男性
48歳

- ・ 令和 6 年 7 月 2 3 日付入所 北広島町出身
男性 4 8 歳
- ・ 令和 6 年 8 月 2 2 日付入所 安佐北区出身
男性 6 6 歳
- ・ 令和 6 年 9 月 1 日付入所 広島市南区出身
女性 4 9 歳

(2) 職員

①退職

(生活支援員) 森野 香菜子

令和 7 年 3 月 3 1 日付

(在職期間) 1 6 年

(非常勤生活支援員) 荒木 美恵子

令和 7 年 3 月 3 1 日付

(在職期間) 3 2 年 1 1 か月

(非常勤生活支援員) 下前 美佐江

令和 7 年 3 月 3 1 日付

(在職期間) 1 3 年

(非常勤理学療法士) 大成 敏正

令和 7 年 3 月 3 1 日付

(在職期間) 1 4 年

Ⅱ. 職員の状況

1. 職員の配置

(令和 7 年 3 月 3 1 日現在)

	常勤	非常勤	計
園長 (兼サービス管理責任者)	1		1
事務長	1		1
事務次長	1		1

支援課長（兼サービス管理責任者）	1		1
生活支援員	20	18	38
管理栄養士	1		1
看護師	3		3
事務員	1	1	2
理学療法士・作業療法士	1	1	2
相談支援専門員	2		2
嘱託医		1	1
産業医		1	1
計	32名	22名	54名

2. 職員の健康管理

職員数が50名を超えたことにより22年度に策定した衛生管理規程に基づき、衛生委員会活動を実施、労災等の防止に努めた。

夜勤従事職員は年2回、一般職員は年齢による付加健診を含む年1回の健診を受けた。要精密検査を指摘された職員には、必ず受けるように奨励した。

健診の結果表に基づき、月1回の産業医相談日に指導・助言を受けた。その際、衛生委員会会議録に目を通していただいた。

27年12月より制定された職員のストレスチェックを実施し、結果を産業医及び労働基準監督署に報告した。

3. 職員の表彰

令和6年11月19日

広島県社会福祉協議会会長表彰 青木ましず

令和6年11月29日

広島市社会福祉協議会会長表彰 益成純也
河崎千夏

〈永年勤続表彰〉

勤続30年表彰 高橋 義彰 (法人)

勤続10年表彰 上 正輝 (法人)

河野 令子 (愛命園)

愛命園開園51周年式典にて(家族会からは感謝状授与)

Ⅲ. その他

- ・カーブスより今年も山のような食品をいただいた

園では、週1回のカーブスメニューを献立に取り入れ、その都度利用者に紹介し、感謝しながらいただき、料理の写真はお礼状に添え、協力されたカーブス各店に送った

ショートステイ利用者の状況

令和7年3月31日現在

1. 出身地 (単位:人)

	県 内				県 外		計
出身地	広島市	安芸太田	福山市				
人数	18	1	1				20人
延日数	1,367日				0日		1,367日

身体障害者14名、知的障害者5名 精神障害者1名

(身体・知的の二つに該当する方は体でカウント)

利用目的は家族のレスパイトを始め、本人の気分転換や生活リズムを整えるなど様々で、毎月の定期利用は、概ね固まっている。

2. 障害支援区分

区分	障害支援区分							計
	1	2	3	4	5	6	該当なし	
人数		2	3	1	7	6	1	20人
日数		149	182	3	644	384	5	1,367日
延日数	1,367日							1,367日

日中一時支援利用者の状況

令和7年3月31日現在

1. 居住地（単位：人）

	県内				県外		計
出身地	広島市	廿日市	呉市				
人数	2	1	1				4人
延日数	43日				0日		43日

身体障害者4名

既存の日課に沿った活動以外に、希望により季節行事に参加。

県立視覚障害者情報センター

1 令和6年度事業報告について

③令和6年度広島県立視覚障害者情報センター事業報告書

1. 情報提供事業

(1)開館日数 261 日

(2) 利用者の状況

利用登録者数(令和7年3月31日現在)

登録者数	1,437人(前年度より4人増)
新規登録者数	23人
除籍者数	19人

(3) 図書受入数

種 別	区 分	受入数
点字図書 (厚労省委託、自館製作等)	タイトル数	41
	巻数	106
テープ図書 (除籍)	タイトル数	-2
	巻数	-9
デージー図書 (自館製作、複本、除籍)	タイトル数	-173
	巻数	-176
一般CD (寄贈)	タイトル数	0
	巻数	0
テキストデージー図書 (自館製作)	タイトル数	25
	巻数	25
マルチメディアデージー図書 (自館製作)	タイトル数	1
	巻数	1
シネマデージー図書 (複製)	タイトル数	1
	巻数	1

(4) 定期刊行物製作数

【点字雑誌】

雑誌名	発行頻度	種 類	発行回数
ひろてんナビ	月刊	点字	12
ひろてんジュニア	季刊	点字	4

プチ・タ・プチ	季刊	点字	4
---------	----	----	---

【録音雑誌】

雑誌名	頻度	種 類	年回数
KURE: BAN	月刊	デイジー	12
週刊文春	週刊	デイジー	4/年
すこやかファミリー	月刊	デイジー・カセット	12
大乘	月刊	デイジー・カセット	12
広島アスリートマガジン	月刊	デイジー・カセット	12
ひろてんジュニア	季刊	デイジー・カセット	4
ひろてんナビ	月刊	デイジー・カセット	12
プチ・タ・プチ	季刊	デイジー・カセット	4
本の雑誌	月刊	デイジー	12
週刊文春WOMAN	季刊	デイジー	4

(5) サピエ図書館へのコンテンツ(データ)提供数

種 別	提供数
点字データ	5
カセットデータ	0
音声デイジーデータ	87
テキストデイジーデータ	40
計	132

(6) 図書貸出数

個人貸出

ア. センター所蔵図書

種 別	区 分	貸出数
点 字	タイトル数	104
	巻 数	358
デ イ ジ ー	タイトル数	10,872
	巻 数	10,892
一 般 CD	タイトル数	44
	巻 数	44
カセット	タイトル数	154
	巻 数	956
合 計	タイトル数	11,174
	巻 数	12,250

イ. 団体借入図書

種 別	区 分	貸出数
点 字	タイトル数	185
	巻 数	727
デ イ ジ ー	タイトル数	6,523
	巻 数	6,533
一 般 CD	タイトル数	211
	巻 数	255
カセット	タイトル数	96
	巻 数	428
合 計	タイトル数	7,015
	巻 数	7,943

ウ. 団体貸出図書

種 別	区 分	貸 出 数
点 字	タイトル数	54
	巻 数	230
デイジー	タイトル数	523
	巻 数	523
一 般 CD	タイトル数	0
	巻 数	0
カセット	タイトル数	38
	巻 数	198
合 計	タイトル数	615
	巻 数	951

(7) 定期刊行物(雑誌)貸出数

種 別	貸 出 数
点 字 雑 誌	82
デイジー雑誌	8, 898
一 般 CD	34
録 音 雑 誌 (カセット)	121
計	10, 971

(8) プライベートサービス

	件 数	実績数	備 考
点 訳	5	3,869 ページ	3,651 枚 (プリントアウト枚 数)
点字印刷	17	9,461	4,807 枚 (プリントアウト枚 数)
音訳 デイジ —	8	5 h 12 m	194 部
音訳 一般 C D	4	2 h 7 m	7 部
音訳 カセッ ト	7	3 h 34 m	7 部
テキスト化	2	787 ページ	—
対面音訳	10	40 h	—

(9) レファレンスサービス

	点字図書	録音図書	その他	件数合計
計	195	1,755	144	2,094

(10) 視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」利用状況

ア サピエ図書館のオンラインリクエスト受信件数

種 別	回 数
【点字】	49 回
【デージー】	499 回
【カセットテープ】	29 回
【一般 CD】	0 回
総 計	577 回

イ サピエ図書館」利用者データダウンロード件数

種 別	区 分	件 数
点字データ	タイトル数	154
	延べ利用者数	320
音声デイジー	タイトル数	571
	延べ利用者数	20,334
テキストデイジー・ マルチメディアデイジー	タイトル数	254
	延べ利用者数	2,889
合 計	タイトル数	979
	延べ利用者数	23,543

(11)生活密着情報の提供

サピエにおいて、広島県内の地域・生活情報の提供を行った。

情報登録数	閲覧数
637	8,611

(12)委託事業

①「ひろしま県民だより」(年 4 回発行)

発行	点 字	デイジー	カセット	計
4/1, 7/1, 10/1, 1/3	1,117	448	121	1,686

②「広島県議会だより」(年 4 回発行)

発行	点 字	デイジー	カセット	計
4/7, 7/28, 10/27, 1/19	1,033	366	105	1,504

③選挙公報・名簿製作

点字による選挙のお知らせや点字候補者名簿を作成した。

摘 要	点 字	デージー	カセット	計
衆議院議員通常選挙 「点字による選挙のお知らせ」	180 部 360 枚			180 部 360 枚
広島市議会議員安芸区 選挙区補欠選挙「点字 による選挙のお知らせ」	20 部 40 枚			20 部 40 枚
広島市議会議員安芸区 選挙区補欠選挙「点字 候補者名簿」	86 部 86 枚			86 部 86 枚
坂町議会議員補欠選挙 「点字候補者名簿」	20 部 20 枚			20 部 20 枚

2. ボランティア養成事業

(1) 登録ボランティア数(令和7年3月31日現在)

ボランティア種別	人 数
点 訳	104
音 訳	134
テキストデージー	9
拡大字	9
館内作業	1
計	257

(2) 県委託講座

講座名	開催日時	参加者数
点訳奉仕員養成講座	令和6年10月30日～ 令和7年2月12日(14回)	2
音訳奉仕員養成講座	令和6年10月30日～ 令和7年2月12日(14回)	7

(3) 主催講座

講座名	会場	実施回数
点訳部研修会	センター	11
専門点訳勉強会	センター	8
点字雑誌製作勉強会	センター	34
点訳ボランティアグループ勉強会	センター	15
点訳ボランティアスキルアップ勉強会	センター	0
音訳部研修会	センター	11
録音雑誌製作勉強会	センター	37
音訳ボランティアスキルアップ勉強会	センター	0
音訳指導員勉強会	センター	0
拡大字製作勉強会	センター	12
テキストデイジー製作勉強会	センター	15
計		143

3. 普及啓発事業

(1) センターだよりの発行(年6回)

行事,生活情報,最新IT情報,センターからのお知らせ,休館日,新刊図書情報等を収録。(発行月 5, 7, 9, 11, 1, 3)

種別	点字	デイジー	カセット	拡大字	普通字	合計
部数	942	1,250	295	1,350	86	3,923

(2) 利用者・ボランティア・職員合同研修会(交流会)

日時: 11月22日(金) 行先: 愛媛県今治市

参加者: 37名

(利用者16名、付添13名、ボランティア3名、職員5名)

(3) 来館利用を促すイベントの実施

①「ピラティスレッスン」

利用者の健康維持・増進, 利用者同士の交流を目的として, ピラティスレッスンを行った。密を回避するため, レッスン参加は利用者限定している。

開催日: 毎月1回 計11回(※3月なし) 延べ参加者 74名

講師: ワンズフィットネス 檜木和波先生

②「レッツエンジョイ! フラダンス」

利用者の健康維持・増進, 利用者同士の交流を目的として, フラダンス教室を開催した。

開催日: 毎月1回 計12回 延べ参加者 46名

講師: フラダンスインストラクター 山肩由美子先生

③「来んさいサロンゆるる」

障害者手帳を取得して間もない方の「相談・情報交換の場」の提供として、サロンを開催した。

開催日: 5, 7, 9, 11, 1, 3月 計6回 延べ参加者 54名

講師: 歩行訓練士 高橋一夫先生

④「太極拳 & 健康体操」

気軽に参加できる運動教室として, 太極拳 & 健康体操教室を開催した。

開催日: 毎月1回 計10回(※8月、11月中止)

延べ参加者 20名

講師: 松田峯子先生

⑤「IT サロン」

日常生活をサポートするタブレット・スマートフォンの操作を、少人数で学べるサロンを開催した。

開催日：4 月 計 1 回 参加者 16 名

講師：寺川玉美先生

⑥「パン教室 プチ・リ・ブロン」

初心者・経験者どちらも楽しめるパンレッスンを開催した。

開催日：毎月 1～2 回 計 15 回 延べ参加者 82 名

講師：プチ・リ・ブロン 大津小百合先生

⑦「発酵教室」

料理の中でも発酵食品に焦点を当て、発酵教室を開催した。

開催日：毎月 1 回 計 10 回（※5 月、6 月開催なし）

延べ参加者 141 名

講師：山田明子先生

⑧「はりねずみ合奏団」

好きな楽器の演奏を楽しむ、はりねずみ合奏団を実施した。

開催日：毎月 1 回 計 10 回（※4、5、6 月なし、12 月 2 回開催）

延べ参加者 236 名

講師：SOUND TRUST 三浦雄希先生

※12 月はコンサートの練習のため、2 回実施した。

※12 月 21 日（土）広島ゲートパークでのクリスマスマーケットコンサートに参加し、ステージで演奏した。

⑨「パンフルート教室」

開催日：毎月 1～2 回 計 17 回 延べ参加者 138 名

講師：日本パンフルート協会 庄ゆかり先生

※4、5 月はなし、7、12、1、2 月は開催 1 回。9 月はコンサート練習のため 3 回開催。

※9月14日(土)県主催のあいサポート・ふれあいコンサートに参加し、演奏を行った。

※12月7日(土)一般社団法人日本パンフルート協会主催のパンフルートコンサートに参加し、演奏を行った。

⑩「エンヴォイコネクト体験会」

エンヴォイコネクトの操作方法が分からない方に向けて体験会を開催した。

開催日:4月9日 参加者 1名

⑪「PTN3 SD・USB メモリ利用体験会」

SDカード・USBメモリでのデイジー貸出の開始に伴い、機械操作などの不安点を解消できるよう体験会を開催した。

開催日:10月4日 参加者 8名

⑫「ディスコ」

クラブを貸し切り、音楽や踊りを楽しむ会を開催した。

場所 club cream hiroshima

開催日:4月2日 参加者 37名

⑬「フラワーアレンジメント」

季節の花を自分で飾って楽しむフラワーアレンジメント教室を開催した。

開催日:8, 10, 12, 2月 計4回 延べ参加者 102名

講師:関川章子先生

⑭「遠足くらぶ」

外出の機会や利用者同士の交流の場の提供として、近郊へのバス遠足を実施した。

開催日:11月18日 みかん狩り(能美島) 参加者 29名

- (4) 学校教育における視覚障害理解等を促進する活動への取り組み
特別支援学校生徒や大学生、福祉専門学校生などを対象に
施設見学・体験実習を受け入れた。

月 日	種 別	人 数
7/11～ 12	職場体験 広島県立広島中央特別支援学校 中学部	2
7/8	施設見学 広島県立広島中央特別支援学校 PTA	11
7/23	施設見学 広島県立広島中央特別支援学校 教職員 新転任者	17
9/24	利用案内 広島県立広島中央特別支援学校 高等部	1
11/20	施設見学 広島文教大学教育学部学生	9
1/28	施設見学 広島福祉専門学校社会福祉科学生	7

※毎年受け入れている市立中学校の職場体験実習は中止。

- (5) 関係団体・視覚障害者団体等の活動の支援

交流の輪を広め、より多くの視覚障害者の利便に供するため、県内の視覚障害者団体と連携を図った。

4. サービス向上のための取り組み

- (1) 利用者からの意見・要望の反映

① 利用者への聞き取りの実施

利用登録者を対象に、行事の際、意見・要望の聞き取りを実施した。

② 行事における意見の集約

来所を促す様々な行事を実施することで、参加者からの意見

や要望を集約し、次年度の行事計画や図書、福祉に関する情報提供のあり方について職員間で検討を行った。

(2) 情報提供

① ホームページの更新

センターだよりの公開、行事お知らせの掲載などを行った。

② SNS の活用

フェイスブックで情報発信を行った。

(3) センターだよりの配布

県内の関連施設、視覚障害者入所施設、公立図書館などにあてて、年6回発行のセンターだよりを送付した。

令和7年3月現在の送付件数 52か所

(4) 関係機関・団体からの点字・録音資料製作依頼

① 障害者支援施設「愛命園」: 愛命園だより「あゆみ」録音版製作

② 広島県教育委員会: 教育相談窓口カード点字版製作

③ 広島市教育委員会: 「いじめ問題24時間相談窓口カード」点字版製作

④ 広島市はり・きゅう・マッサージ師会: 会員向け資料の点訳

⑤ 広島県鍼灸マッサージ師会: 会員向け資料の点訳

⑥ 広島県立広島中央特別支援学校:

図書室用点字図書 プリントアウト

理科、国語問題集 点訳

同窓会総会資料 点訳

⑦ 広島県身体障害者団体連合会:

・「広島身障通信」録音版製作

・身体障害者相談員協議会資料 点字版製作

・身体障害者相談員研修会資料 点字・録音版製作

・情報アクセシビリティ調査票 点字版製作

・身体障害者福祉大会資料 点字版・録音版製作

⑧広島県立図書館：「声の目録」点字プリントアウト

⑨広島県社会福祉協議会：広島県介護支援専門員実務研修受講試験 受験上の注意 点字版製作

5. 地域、関係機関との連携体制計画の実施状況

(1) 全国視覚障害者情報提供施設との連携

- ①全国視覚障害者情報提供施設協会が運営する視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」の運用に、蔵書目録の提供やコンテンツ提供の面で協力した。
- ②サピエ図書館及び国立国会図書館全国総合目録を通じて、全国の視覚障害者情報提供施設との資料の相互貸借を活用した。

(2) 県内公立図書館との連携

- ①県立図書館及び希望する市町立図書館にあてて、年6回のセンターだよりを送付し、相互理解に努めた。
- ②当センター所蔵の点字・録音資料を、希望に応じて県内の市町立図書館に貸出しを行った。
- ③広島県立図書館の障害者サービス体験会において、点字体験コーナーを開催した。
- ④広島県立図書館「声の目録」点字版作成業務に協力を行った。

(3) 支援学校との連携

- ①点訳ボランティアと連携し、支援学校で使用する学習教材の点訳に積極的に協力した。
- ②読書活動のための蔵書製作に協力した。

(4) 眼科・医療機関との連携

広島県眼科医会や広島県・市の視覚障害者関係施設・団体で開設されたスマートサイト「もみじサイト」において、医療と福祉双方での連携を強め、中途視覚障害当事者とその家族の方々が、

いち早く必要なサービスを利用できるよう相談受付窓口としてリードした。

(5) 視覚障害者団体等との連携

広島県内の視覚障害者団体主催の行事情報などをセンターだよりに掲載し、広報に協力した。

(6) 地域のボランティアとの連携

各種講習会及び講演のため、担当職員・指導員を派遣しているが、今年度は実施がなかった。

(7) 広島大学アクセシビリティセンター

①大学職員向けアクセシビリティリーダー育成プログラムへの協力を行った。

②教育のユニバーサルデザイン化推進ネットワーク UE-Net に参画した。

6. 視覚障害施設職員としての専門的資質の向上

①職員が受講した研修・講座

	研修・講座名	期日	場所	人数
1	サピエ研修会 (オンライン)	7/4～5	センター	3
2	第45回中国四国点字図書館館長会議、職員・ボランティア研修会	6/20～21	愛媛県松山市	1
3	第49回全国視覚障害者情報提供施設協会	10/10～11	福岡県春日市	3

②職員自主研修会

	研修内容	月	会場	人数
1	令和5年度貸出数の分析	4	センター	4
2	録音図書の目録作成について	5	センター	4
3	中国四国点字図書館職員研修会の情報共有	6	センター	4
4	サピエ研修会の情報共有	7	センター	4
5	R6年度後半行事について	8	センター	5
6	SDカード・USBメモリによる貸出サービスの準備	9	センター	4
7	全視情協大会の情報共有	10	センター	4
8	蔵書の充実、書庫の整理について	11	センター	4
9	県立図書館障害者サービス体験会の情報共有	11	センター	5
10	利用者満足度調査について	12	センター	4
11	蔵書の充実、書庫の整理について	1	センター	4
12	サピエ停止期間中の対応について	2	センター	4
13	蔵書製作や業務改善について	3	センター	4
14	令和7年度行事について	3	センター	4

福山市視覚障害者地域活動支援センター

1 令和6年度事業報告について

④福山市視覚障害者地域活動支援センター事業報告書

1 情報提供事業

(1) 諸機関等からの情報を、墨字・音声・点字・メール で提供する。

- ・各諸機関から提供される書籍等の貸出情報
- ・福山市からのお知らせ

(点字ブロックの仮移設を伴う占用工事について等)

ほか

(2) 「ホームページ」「Facebook」による情報発信
ホームページや Facebook を通じて、支援センターの活動等を紹介する。

評価と課題

読みやすい案内文の作成と発信頻度、音声デイジー版では他の人の返却待ちということがなるべくないように、細かく注意しながら情報提供をした。それらを継続すると共に、SMS を活用した発信もしていきたい。

2 ボランティア養成事業

(1) 広報「ふくやま」全文読み音訳ボランティアスキルアップ勉強会

実施日 4月10日(水)から3月12日(水)
(全10回)

参加者 平均8人 (延べ 80人)

内 容 広報等デイジー版のデジタル録音と編集の学習

指導者 中島タマイ、藤井郁子(音訳指導員)

音訳ボランティアグループクイーンズ' B 会員

評価と課題

各号の読み方を中心に勉強を進めた。広報の特集などが見える人に分かりやすく写真や図が増え、記事を読む順番や図の

文章化に苦勞した。読んだ人の音声を流し、どう読んだらいいかを考えながら、次につながる学習が多くあった。

次年度も引き続き、勉強会を開催し利用者の皆さんにより良い音声を届けたい。

(2) 音訳指導員養成講習会

実施日 12月5日(木)・6日(金)

参加者 6人

音訳ボランティアグループクイーンズ' B

社協の音訳ボランティア

内 容 音訳指導員認定試験受験のため

講 師 安田 知博(フリーアナウンサー)ほか6名

評価と課題

今年度の受験者はいなかったが、受験するにあたっては、テキストの内容だけでは難しいという声もあった。

2年ごとの開催のため、次回の開催で指導員認定試験を受験し次のボランティアを育成できる指導員の養成を目指したい。

(3) パソコン点訳ボランティア養成講座

実施日 12月5日(木)～1月30日(木)

(全8回)

参加者 延べ47人(サポートボランティア含む)

内 容 入門編から実用編

講 師 比奈 陽子(点訳指導員)

評価と課題

参加者それぞれが高い学習意欲で点字技術の習得を図り、今回新たに2名の参加者がボランティアに登録した。今後の活躍に期待するとともに、次年度以降も講習会等を実施し、ボランティアの確保に努めていきたい。

(4) 音声パソコンボランティア養成講座

実施日 11月15日(金)から12月6日(金)

(全4回)

参加者 延べ40人(サポートボランティア含む)

内 容 音声ソフトを使用しながら、マウスを使わない

キーボードでのパソコン操作を学ぶ

講師 水本 裕子

評価と課題

6名の受講者全員が音声パソコン初心者であった。4回と少ない受講回数に不安を覚える参加者もいたようだが、

早い段階でボランティアとして教室へ参加することにより、当事者とコミュニケーションを図りながら身をもって学習することができた。今後も定期的に養成講座を実施し、ボランティアの確保に努めたい。

3 相談・生活支援事業

(1) 相談事業

① 定期障がい者相談会

期 間 4月1日から3月31日まで 毎週水曜日

相談員 福山市障がい者相談員 8人

定期相談日の相談件数 61件

相談件数（平日含む） 230件

評価と課題

近年、定期相談日の相談件数が減少している。定期相談会の実施については、これまで年1回の情報発信とホームページでの案内で周知を図ってきたが、次年度は毎月の情報発信で実施日と相談担当者をお知らせし、当事者やその家族が気軽に相談できるような環境を整えていく。

② 情報交換サロン

1. 防災講習会

実施日 10月16日（水）

参加者 12人

内 容 日本赤十字社派遣講師による防災研修会と救急法短期講習

講 師 日本赤十字社広島県支部 平川朝水さん

評価と課題

参加者全員が胸骨圧迫とAEDを体験した。

更に、日頃の備えや救助に向かう人の心得、すぐに手当てすべき症状等、講師の言葉に対し熱心に耳を傾けていた。防災意識を高め、日頃からしっかり備えをしていきたい。

2. 副音声付映画観賞会

実施日 1月15日（水）

参加者 10人

内 容 上映作品 「記憶にございません」

評価と課題

映画鑑賞会は久しぶりの開催となった。上映作品については賛否両論あったが、全体的には参加者同士の交流も含め楽しんでいただけた様子であった。

また開催してほしいという声もあったため、次年度以降の実施も検討していきたい。

3. 電子レンジクッキング体験

実施日 3月3日（月）

参加者 8人

内 容 電子レンジを使った簡単レシピの提案

評価と課題

この事業は初の試みであったが、参加者同士が楽しく会話をしながら手を動かし、アットホームな会となった。

今回、1人分を作るレシピを提供したため、単身世帯の方からも手軽に作れて美味しいと好評であった。是非第2弾をとという声が上がっているので、次年度以降も計画していきたい。

③相談員研修会

実施日 5月8日（水）

内 容 福山市の出前講座の中から2講座を選び、
講師による講習

テーマ ・障がい者福祉制度
・障がい者差別解消法って？

参加者 相談員9名、所長 計10名

講 師 福山市保健福祉局福祉部障がい福祉課 4名
中村清治、横山敏己、坂井大希、村上愛実

評価と課題

日頃、相談員全員が集まることがないため、様々な意見を交わすことができ、有意義な時間となった。

講座テーマについてはよく聞くものだったが、改めて話を聞くことで、より深く知ることができたようだ。

(2) 生活支援・自立訓練講習会

①視覚障がい者白杖歩行訓練

実施日 4月1日から3月31日 個別対応

講師 花木 瑞美

(島根あさひ訓練センター 生活訓練指導員)

内容 受講者宅の周辺を中心にしながらニーズに応じた歩行訓練

受講者 11人(延べ36人)

評価と課題

個々のニーズに応じて、白杖選びから単独歩行までの訓練をした。次年度からは総回数を増やし、より多くの方に訓練の機会を得てもらう予定である。

行動の不自由を克服し単独移動を確保するために、今後も継続して実施していきたい。

②音声パソコン教室

実施日 4月5日(金)から3月21日(金)(全31回)

講師 水本 裕子

サポート パソコンサポートボランティアすずらん

受講者 16人(延べ181人)

ボランティア 7人(延べ110人)

評価と課題

第1週、第2週は、テーマに沿った内容で学習を進めた。

第3週は、個人ごとに質問や相談を受け付け、音声パソコンに対する困りごとを解決しスキルアップを図った。

今後も継続して実施していきたい。

③点字触読教室

実施日 4月6日(火)から3月15日(火)

(全22回)

講師 加藤 尚志

サポート 点字触読サポートボランティアさくらんぼ

受講者 9人(延べ102人)

ボランティア 5人（延べ80人）

評価と課題

今年度は、メールアドレスや英単語の表記方法を全員で学習した。個別の学習については、それぞれがスキルアップし新たな教材へのチャレンジが見られた。

次年度は参加者が増える予定となっているため、更なる教室の発展に期待したい。

④男性と初心者の料理教室

実施日 5月22日（水）、9月24日（火）

（全2回）

ところ 福山市西交流館

講師 河田 志保（管理栄養士）

アシスタント 藤井 聖美（予防医学食養生士）

参加者 延べ13人

評価と課題

第1回はパスタをメインに、第2回はスタミナ満点の男性向けメニューで実施した。

次年度以降も、参加者の要望に耳を傾けながら継続して実施する予定である。

4 交流事業

（1）スポーツ活動

①ウォーキング

実施日 4月20日（土）

内容 鞆の浦 街並みウォーキング

参加者 15人（付添い含む）

評価と課題

現地のボランティアガイドにマイクで音声案内をしてもらいながら、鞆の浦の街並みをウォーキングした。

また、鞆の浦との往復は路線バスを利用した。

今後も、参加者の健康増進と外出の機会を提供できるよう、引き続きウォーキング事業を実施していきたい。

②サウンドテーブルテニス大会（主催）

実施日 12月8日（日）

会 内 容 広島県視覚障害者サウンドテーブルテニス大

共 催 広島県視覚障害者団体連合会青年部
福山市視覚障害者福祉協会卓球部

参加者 19人（サポーター、審判含む）

評価と課題

今回は、他2団体との共催で開催した。

参加者については、県内から広く募集をしたが、ほとんどが福山市内からの参加であった。

健康の増進と外出の機会を提供するため、今後も継続してスポーツ活動を実施していきたい。

（2）文化活動

①クッキング教室

実施日 6月12日（水）、10月23日（水）、
2月26日（水） （全3回）

ところ 福山市西交流館

講師 卯目 道子（地域活動栄養士）

参加者 第1回 7人 第2回 7人 第3回 5人
（延べ19人）

評価と課題

第1回、第2回は、ボリュームのあるステーキやハンバーグがメインの献立であったため、男性の参加が多くみられた。

次年度も参加者の要望を取り入れ、家庭で出来る簡単レシピを提案していきたい。

②生け花教室

実施日 6月25日（火）、12月18日（水）
（全2回）

ところ 福山市西交流館

講師 長谷 和子

参加者 6人（延べ10人）

評価と課題

第1回は季節の生花、第2回はお正月をテーマに、いずれも華やかな材料を用意していただき生け花を楽しんだ。

また、参加者同士が作品の仕上がりについて評価を
し合い、交流を図ることもできた。

次年度以降も、継続して実施する予定である。

③お抹茶教室

実施日 6月25日（火）、12月18日（水）

（全2回）

ところ 福山市西交流館

講師 長谷 和子

参加者 9人（延べ11人）

評価と課題

第1回の教室では、夏のお手前をテーマに、夏茶碗を
利用し、お抹茶で季節感を味わうことができた。

美味しいお菓子とお抹茶をいただくことにより会
話が弾み、参加者同士の交流を図ることもできた。

今後も継続して実施していきたい。

（3）2024アイフェスタふくやま（福祉機器展）

実施日 11月10日（日）

ところ 福山市市民参画センター

来場者 190人

評価と課題

今年度は、アプリを利用したナビゲーションシステム
や、しゃべる点字ブロック、ユニバーサルデザインのおもちゃ
など、今までになかった新しい企業も多く出展した。

今後も幅広く出展を募り、より多くの企業に参加して
いただけるよう働きかけていきたい。

（4）ボランティア交流会

実施日 5月18日（土）

参加数 28人

行き先 福山市老人福祉センター紫雲荘

評価と課題

森林浴を募集案内に記載していたため、これを楽し
みに参加された方からは、「物足りなかった」との声があった。

紫雲荘では、カラオケや昼食を楽しみながら、ボラ
ンティアさんとの交流を図った。

今後も継続して実施していきたい。

(5) 社会見学

実施日 11月23日(土)

ところ 社会福祉法人広島県視覚障害者団体連合会
愛命園、八天堂ビレッジ

内 容 愛命園まつり見学ツアー

参加者 25人

評価と課題

広い愛命園内を、食事や買い物をしながら散策し、
各々が楽しい時間を過ごした。

次年度以降も、参加者に魅力を感じてもらえる内容で
企画していきたい。

(6) 音楽イベント

視覚障害者のカラオケ発表会とオセロ競技会(共催)

実施日 7月21日(日)10時30分開演15時終了

ところ 福山市老人大学 2階

内 容 第39回広島県視覚障害者カラオケ大会

第30回広島県視覚障害者オセロ大会

合唱・合奏グループ発表会

主 催 広島県視覚障害者団体連合会

来場者 61人(出演者・競技者含む)

評価と課題

広島県視覚障害者団体連合会主催の大会であったた
め、他市町からの来場者との交流も楽しみながら、それぞれが
充実した時間を過ごしたようであった。

音楽イベントは毎年実施しているため、次年度以降も
より良い会となるよう企画していきたい。

(7) 各クラブ活動への支援

期 間 4月1日から3月31日

参加者 延べ人数 597人

(ボランティアを含む)

評価と課題

部員数減少やボランティアの高齢化により頻繁な活動が難しいクラブもある。それぞれの部のペースで活動できるよう支援を継続したい。

5 職員研修等

①支援センター運営委員会

第1回 5月 8日（水）

第2回 1月31日（金）

②（社福）広島県視覚障害者団体連合会

令和6年度理事会評議員会

理事会 5月26日（日）、12月 1日（日）
3月 9日（日）

評議員会 6月16日（日）、12月15日（日）
3月23日（日）

③2024アイフェスタふくやま実行委員会

第1回 6月13日（木）

第2回 8月28日（水）

第3回 9月27日（金）（書面会議）

第4回 12月 3日（火）（書面会議）

④第77回全国視覚障害者福祉大会（熊本大会）

と き 6月 2日（日）

6月 3日（月）

⑤第72回中国ブロック視覚障害者福祉大会

（広島県大会）

と き 9月 7日（土）～9月 8日（日）

⑥第45回中国四国点字図書館館長会議

職員・ボランティア研修会（愛媛県松山市）

と き 6月20日（木）～6月21日（金）

⑦第49回全国視覚障害者情報提供施設大会

（福岡大会）

と き 9月10日（火）～9月11日（水）

⑧職員研修 障害者差別解消法に係る事業者向け説明会
と き 6月 6日（木）（オンライン）

⑨就労支援部会 第1回 5月24日（金）
第2回 7月29日（金）
第3回 11月 1日（金）
第4回 1月31日（金）

⑩職員研修 令和6年度防災研修会
と き 8月28日（水）
10月16日（水）

⑪職員研修 令和6年度防災・減災オンライン講座
と き 12月 2日（月）～
1月31日（金）（オンライン）

【令和6年度受託事業報告】

1 広報ふくやま「音訳」「点訳」に係る事業

4月 契約

5月号から翌年4月号まで 12回作成・配布

合計数 音訳版 904枚、点訳版 194部

2 ふくやま市議会だより「音訳」「点訳」に係る事業

4月 契約

3月定例会 5月臨時会 6月定例会

9月定例会 12月定例会 5回作成・配布

合計数 音訳版 372枚、点訳版 80部

毎号納入期限内で納めている。作業の時間短縮を図り、点訳・校正技術や録音・編集技術の向上を図りたい。

3 音訳・点訳等受託事業

(1) 福山市長選挙「選挙のお知らせ版（点字版）」作成

投票用紙貼付用点字シール 1,000部作成

選挙公報点字版 20部作成

(2) 介護保険啓発用パンフレット音訳版・点訳版作成業務

早わかり介護保険

音訳版 10部 点訳版 10部作成

評価と課題

毎回期限内に納められているが、短期間での作業のためボランティアの負担も大きい。よりスムーズに作業を進めることが出来るように配慮し、より質の高いものを目指したい。

【令和 6 年度日常生活用具・補装具取扱事業】

取扱件数

日常生活用具 15 件、補装具 9 件

取扱品目

日常生活用具

- ・ プレクストークポータブルレコーダー P T R 3 7 台
- ・ 音声体温計 2 台
- ・ 音声体重計 1 台
- ・ クローバー 1 0 1 台
- ・ 点字盤 1 台
- ・ コンパクト 1 0 スピーチ 1 台
- ・ I H クッキングヒーター 1 台
- ・ 言語くん（聴覚障害者用） 1 台

補装具